

# 石川県の将来推計人口

(令和5年国立社会保障・人口問題研究所推計)

この将来推計人口は、令和2(2020)年の国勢調査を基に、令和32(2050)年までの30年間について推計した「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所：令和5年12月公表)について、石川県分を取りまとめたものです。

## 結果の要点

- ・ **石川県の人口は令和22(2040)年には100万人を割り込む**  
石川県の人口は長期にわたって減少が続き、令和22(2040)年には979千人と100万人を割り込む。令和32(2050)年には897千人となる。
- ・ **総人口全国順位は33位から30位に上昇**  
石川県の人口は減少するものの減少率が比較的小さいため、全国順位は33位(2020年)から30位(2050年)に上昇する。
- ・ **老年(65歳以上)人口の割合は大幅に上昇**  
老年人口の割合は29.8%(2020年)から38.3%(2050年)に大幅に上昇する。

令和6年1月

石川県県民文化スポーツ部統計情報室

令和5年12月22日、国立社会保障・人口問題研究所(厚生労働省所管)から「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」が公表されました。これに基づく石川県関係分の概要は次のとおりです。

## 目次

1	石川県の将来推計人口	1
2	県内市町、地域の将来推計人口	5
3	県内市町、地域の年齢別人口割合	11

## 解 説

### 将来推計人口

国勢調査や人口動態統計などのデータから将来の出生率や死亡率を仮定し、日本全体の人口、都道府県別・市区町村別の人口が数十年後にどうなるか、国立社会保障・人口問題研究所で国勢調査に合わせて、おおむね5年ごとに算出している。2020年のデータを基にした2070年(50年後)の日本の推計人口は令和5年4月に公表され、日本の人口は令和2(2020)年の1億2,615万人から令和32(2070)年には約3割減少し、8,700万人になるとしている。

### 地域別将来推計人口

今回の推計は、将来の人口を都道府県別・市区町村別に求めることを目的としたもので、令和2年国勢調査を基に、令和2(2020)年から令和32(2050)年までの30年間(5年ごと)について、男女・5歳階級別に推計している。

なお、個々の詳しい内容については、国立社会保障・人口問題研究所ホームページ『日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)』を参照のこと

※国立社会保障・人口問題研究所ホームページ『日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)』

<https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson23/t-page.asp>

## 利用上の注意

- 1 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入しており、表章単位未満を含んだ数値から算出している。このため、総計と内訳の計とは必ずしも一致しない場合がある。
- 2 「－」は該当数値がないもの、「△」はマイナスを意味する。
- 3 市町名は、令和5年12月1日現在の市町による。

# 1 石川県の将来推計人口

(1) 石川県の人口は令和 22(2040)年には 100 万人を割り込む(表 1、図 1)

国立社会保障・人口問題研究所(厚生労働省所管)から、令和 5 年 12 月に公表された「日本の地域別将来推計人口(令和 5 年推計)」によると(以下同じ)、本県の推計人口は長期に渡って減少が続き、令和 22(2040)年に 978,926 人と、100 万人を割り込む。

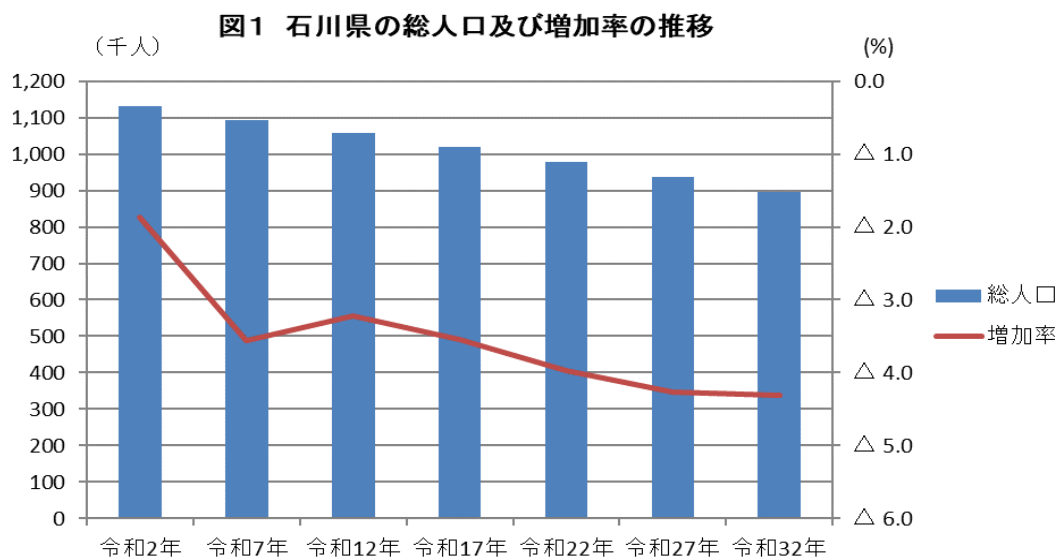
令和 32(2050)年には 896,801 人となり、令和 2(2020)年の 1,132,526 人と比較すると、約 23 万 6 千人、20.8%の減少となる。

**表 1 石川県の総人口、指数及び増加率の推移**

年次	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)
総人口(人)	1,132,526	1,092,257	1,056,997	1,019,482	978,926	937,129	896,801
指数 ※1	100.0	96.4	93.3	90.0	86.4	82.7	79.2
増加率(%) ※2	△ 1.9	△ 3.6	△ 3.2	△ 3.5	△ 4.0	△ 4.3	△ 4.3

※1 令和2(2020)年の総人口を100としたときの総人口の値

2 増加率は5年前との比較



(2) 年少(0-14 歳)人口及びその割合は減少傾向(表 2、図 2)

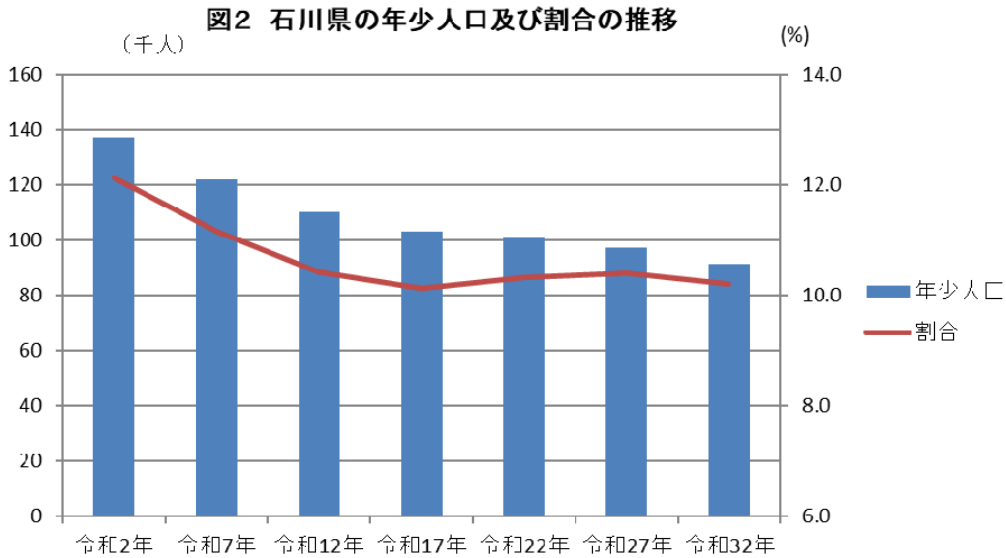
本県の年少(0-14 歳)人口は、少子化の進展に伴い、総人口と同様に減少が続き、令和 32(2050)年には 91,543 人と令和 2 年(2020)年(137,365 人)の約 7 割に減少する。

総人口に占める割合も、令和 2 年(2020)年の 12.1%から令和 32(2050)年には 10.2%と 1.9ポイント低下する。

**表 2 石川県の年少(0-14歳)人口、指数及び割合の推移**

年次	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)
年少人口(人)	137,365	122,069	110,169	103,331	101,100	97,444	91,543
指数 ※	100.0	88.9	80.2	75.2	73.6	70.9	66.6
割合(%)	12.1	11.2	10.4	10.1	10.3	10.4	10.2

※ 令和2(2020)年の年少人口を100としたときの年少人口の値



(3) 生産年齢(15-64歳)人口及びその割合は減少傾向(表3、図3)

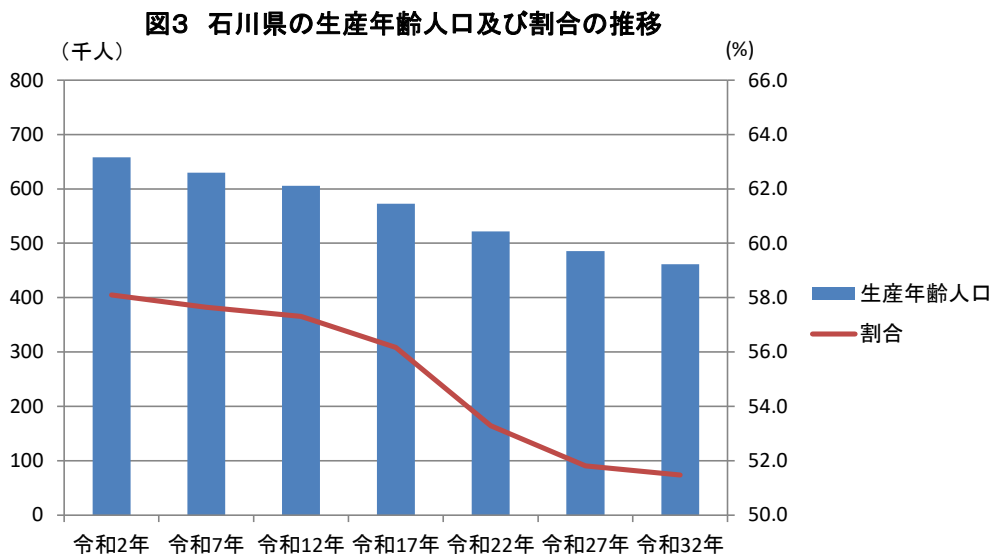
本県の生産年齢(15-64歳)人口は減少が続き、令和32(2050)年には461,618人と、令和2(2020)年(657,990人)の約7割に減少する。

総人口に占める割合も令和2(2020)年の58.1%から、令和32(2050)年には51.5%と6.6ポイント低下する。

**表3 石川県の生産年齢(15-64歳)人口、指数及び割合の推移**

年次	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)
生産年齢人口(人)	657,990	629,668	605,740	572,565	521,649	485,487	461,618
指数 ※	100.0	95.7	92.1	87.0	79.3	73.8	70.2
割合 (%)	58.1	57.6	57.3	56.2	53.3	51.8	51.5

※ 令和2(2020)年の生産年齢人口を100としたときの生産年齢人口の値



(4) 老年(65歳以上)人口の割合は増加傾向(表4、図4)

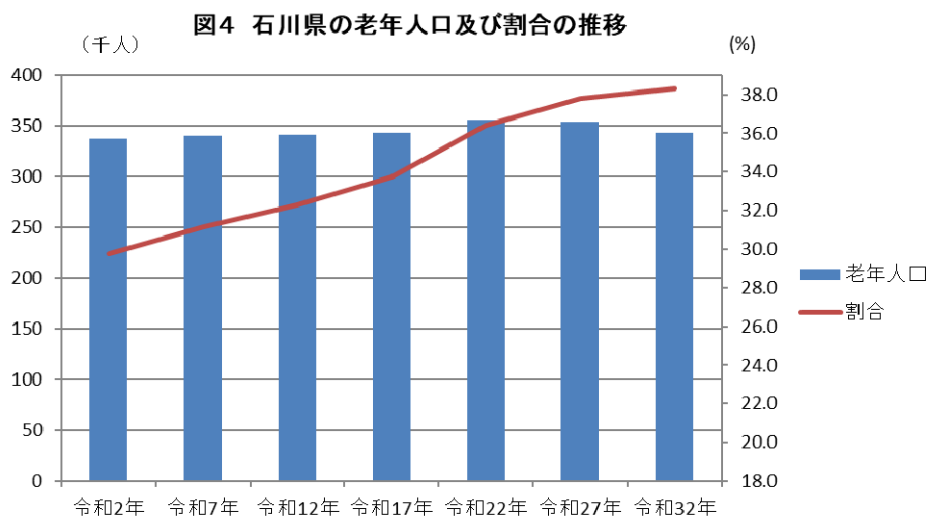
本県の老年(65歳以上)人口は増加傾向が続くが、令和22(2040)年(356,177人)をピークに減少に転じる。

総人口に占める割合は増加傾向が続き、令和2(2020)年の29.8%から、令和32(2050)年には38.3%と8.5ポイント上昇する。

**表4 石川県の老年(65歳以上)人口、指数及び割合の推移**

年次	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)
老年人口(人)	337,171	340,520	341,088	343,586	356,177	354,198	343,640
指数 ※	100.0	101.0	101.2	101.9	105.6	105.0	101.9
割合(%)	29.8	31.2	32.3	33.7	36.4	37.8	38.3

※ 令和2(2020)年の老年人口を100としたときの老年人口の値



(5) 75歳以上人口の割合は増加傾向(表5、図5)

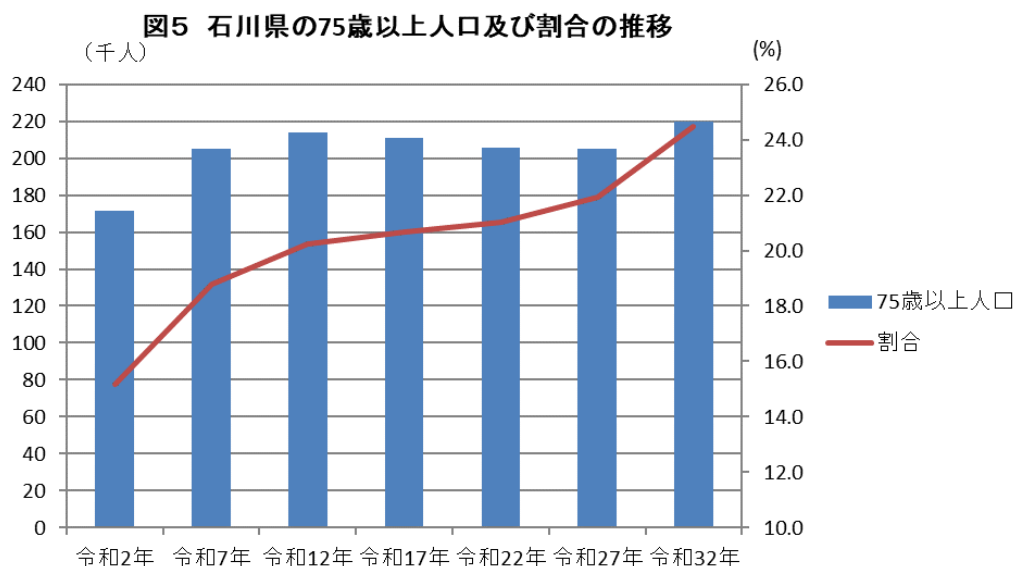
本県の75歳以上人口は、令和12(2030)年(214,004人)まで増加傾向だが、令和17(2035)年(210,787人)をピークにいったん減少に転じる。令和32(2050)年(219,572人)には再び増加する。

総人口に占める割合は、令和2(2020)年の15.2%から、令和32(2050)年には24.5%と令和2(2020)年と比べ9.3ポイント上昇する。

**表5 石川県の75歳以上人口、指数及び割合の推移**

年次	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)
75歳以上人口(人)	171,629	205,156	214,004	210,787	205,695	205,296	219,572
指数 ※	100.0	119.5	124.7	122.8	119.8	119.6	127.9
割合(%)	15.2	18.8	20.2	20.7	21.0	21.9	24.5

※ 令和2(2020)年の老年人口を100としたときの老年人口の値



(6) 石川県の総人口順位は令和 32 (2050)年には全国 30 位に上昇(表 7)

本県の総人口を他の都道府県と比較すると、人口は減少するもののその減少率が比較的小さいため、全国順位は令和 2 (2020)年の 33 位から令和 32 (2050)年には 30 位に上昇する。

また、全国の総人口に占める割合は、0.9%で 30 年後も変わらない。

**表 7 主な都府県別総人口 (全国順位) の推移**

都府県	順位	令和2年 (2020年)		順位	令和17年 (2035年)		順位	令和32年 (2050年)	
		人口 (人)	割合 (%)		人口 (人)	割合 (%)		人口 (人)	割合 (%)
東京都	1	14,047,594	11.1	1	14,458,983	12.4	1	14,399,144	13.8
神奈川県	2	9,237,337	7.3	2	9,011,993	7.7	2	8,524,492	8.1
大阪府	3	8,837,685	7.0	3	8,167,191	7.0	3	7,263,182	6.9
⋮		⋮		⋮			⋮		
石川県	33	1,132,526	0.9	31	1,019,482	0.9	30	896,801	0.9
⋮		⋮		⋮			⋮		
富山県	37	1,034,814	0.8	36	897,816	0.8	35	761,719	0.7
⋮		⋮		⋮			⋮		
福井県	43	766,863	0.6	43	671,594	0.6	42	572,885	0.5
⋮		⋮		⋮			⋮		

※ 全国総人口に占める割合

## 2 県内市町、地域の将来推計人口

(1) 令和 17(2035)年以降は全ての市町で人口が減少する。(表 8)

県内市町別に将来推計人口をみると、総人口が増加する市町は令和 2(2020)年では 3 市あるが、それ以降は減少を続け、令和 7(2025)年には 2 市、令和 12(2030)年には 1 市となり、令和 17(2035)年以降は全ての市町で人口が減少する。

地域別にみると、石川中央以外の地域は一貫して人口減少を続けるが、石川中央も令和 7(2025)年以降は減少に転じる。特に奥能登は 10%以上の減少が続く。

○総人口が増加する市町(5 年前との比較)

令和 2(2020)年・・・3 (かほく市、白山市、野々市市)

令和 7(2025)年・・・2 (かほく市、野々市市)

令和 12(2030)年・・・1 (野々市市)

令和 17(2035)年～令和 32(2050)年・・・0

**表 8 石川県の市町・地域別人口増加率（総人口）**

市町・地域	（%）						
	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)
石川県	△ 1.9	△ 3.6	△ 3.2	△ 3.5	△ 4.0	△ 4.3	△ 4.3
加賀	△ 0.4	△ 2.3	△ 2.1	△ 2.4	△ 2.9	△ 3.3	△ 3.4
能登	△ 8.8	△ 10.1	△ 9.9	△ 10.5	△ 11.2	△ 11.8	△ 12.1
南加賀	△ 2.3	△ 3.7	△ 4.0	△ 4.4	△ 4.7	△ 5.0	△ 5.1
石川中央	0.1	△ 1.9	△ 1.5	△ 1.9	△ 2.4	△ 2.8	△ 2.9
中能登	△ 8.0	△ 8.7	△ 8.8	△ 9.4	△ 10.1	△ 10.7	△ 11.0
奥能登	△ 10.4	△ 12.8	△ 12.1	△ 12.8	△ 13.7	△ 14.4	△ 14.7
金沢市	△ 0.5	△ 2.8	△ 1.4	△ 1.8	△ 2.2	△ 2.6	△ 2.6
七尾市	△ 9.1	△ 8.1	△ 8.6	△ 9.2	△ 9.9	△ 10.7	△ 11.1
小松市	△ 0.7	△ 2.4	△ 3.1	△ 3.4	△ 3.7	△ 3.9	△ 4.1
輪島市	△ 9.6	△ 13.7	△ 11.6	△ 12.2	△ 12.9	△ 13.4	△ 13.6
珠洲市	△ 11.6	△ 12.8	△ 13.1	△ 14.2	△ 14.9	△ 15.5	△ 15.9
加賀市	△ 5.9	△ 8.0	△ 7.7	△ 8.3	△ 9.0	△ 9.6	△ 9.7
羽咋市	△ 6.1	△ 9.3	△ 8.5	△ 9.1	△ 10.0	△ 10.4	△ 10.8
かほく市	2.0	0.1	△ 2.0	△ 2.4	△ 2.9	△ 3.1	△ 3.1
白山市	1.0	△ 1.3	△ 2.1	△ 2.5	△ 2.9	△ 3.3	△ 3.5
能美市	△ 0.7	△ 1.2	△ 2.1	△ 2.3	△ 2.6	△ 2.9	△ 3.1
野々市市	3.9	2.5	0.3	△ 0.5	△ 1.4	△ 2.1	△ 2.2
川北町	△ 3.3	△ 1.7	△ 1.7	△ 1.9	△ 2.1	△ 2.5	△ 2.4
津幡町	△ 0.0	△ 0.8	△ 1.6	△ 2.0	△ 2.7	△ 3.2	△ 3.8
内灘町	△ 1.5	△ 2.4	△ 3.5	△ 4.0	△ 4.6	△ 5.2	△ 5.3
志賀町	△ 8.8	△ 10.4	△ 10.5	△ 11.4	△ 12.3	△ 13.0	△ 13.4
宝達志水町	△ 8.0	△ 8.7	△ 9.2	△ 10.0	△ 10.9	△ 11.8	△ 12.2
中能登町	△ 5.9	△ 7.9	△ 7.2	△ 7.6	△ 8.0	△ 7.9	△ 8.1
穴水町	△ 10.2	△ 10.0	△ 10.6	△ 11.0	△ 12.1	△ 13.2	△ 13.5
能登町	△ 10.7	△ 12.6	△ 12.8	△ 13.6	△ 14.9	△ 16.0	△ 16.5

※ 人口増加率は 5 年前との比較

(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南 能登…羽咋郡以北  
 南加賀…能美市・能美郡以南 石川中央…白山市以北  
 中能登…羽咋郡以北 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

(2) 30年後(令和32(2050)年)奥能登の人口は現在の半分以下に減少(表9、図7)

市町別の総人口を令和2(2020)年を100とした指数で見ると、令和32(2050)年には、すべての市町で100を下回る。輪島市(43.7)、珠洲市(39.3)、志賀町(46.9)、穴水町(47.3)、能登町(39.4)では50を下回り、人口が令和2(2020)年の半分以下となる。

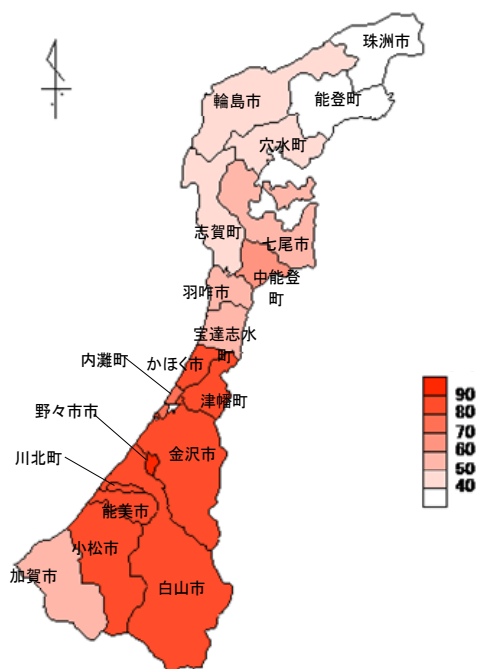
地域別にみると、2020年を100とした指数の高い順に石川中央(87.4)、南加賀(76.0)、中能登(53.9)、奥能登(42.1)の順となり、奥能登の人口は令和2(2020)年の半分以下となる。

表9 石川県の市町・地域別将来推計人口(総人口)

市町・地域	総人口(人)		2020年を100とした指数
	2020年	2050年	
石川県	1,132,526	896,801	79.2
加賀	953,414	807,405	84.7
能登	179,112	89,396	49.9
南加賀	224,094	170,248	76.0
石川中央	729,320	637,157	87.4
中能登	117,998	63,657	53.9
奥能登	61,114	25,739	42.1
金沢市	463,254	404,449	87.3
七尾市	50,300	27,443	54.6
小松市	106,216	86,175	81.1
輪島市	24,608	10,754	43.7
珠洲市	12,929	5,083	39.3
加賀市	63,220	36,571	57.8
羽咋市	20,407	11,063	54.2
かほく市	34,889	30,439	87.2
白山市	110,408	94,293	85.4
能美市	48,523	42,084	86.7
野々市市	57,238	55,360	96.7
川北町	6,135	5,418	88.3
津幡町	36,957	32,050	86.7
内灘町	26,574	20,566	77.4
志賀町	18,630	8,740	46.9
宝達志水町	12,121	6,245	51.5
中能登町	16,540	10,166	61.5
穴水町	7,890	3,729	47.3
能登町	15,687	6,173	39.4

※(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南  
 能登…羽咋郡以北  
 南加賀…能美市・能美郡以南  
 石川中央…白山市以北  
 中能登…羽咋郡以北  
 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図7 市町別総人口指数(2050年)



※市町別総人口指数  
 2020年の総人口を100とした指数

(3) 今後も金沢市を中心とした石川中央への人口集中が続く(表10、図8)

地域別に県の総人口に占める各地域の総人口の割合をみると、石川中央のみ今後も上昇を続け、南加賀、中能登と奥能登は下降する。金沢市を中心とした石川中央への人口集中が続く、30年の間に、加賀の総人口の割合は84.2%から5.8ポイント上昇し90.0%に、能登の総人口の割合は15.8%から5.8ポイント下降し10.0%となる。

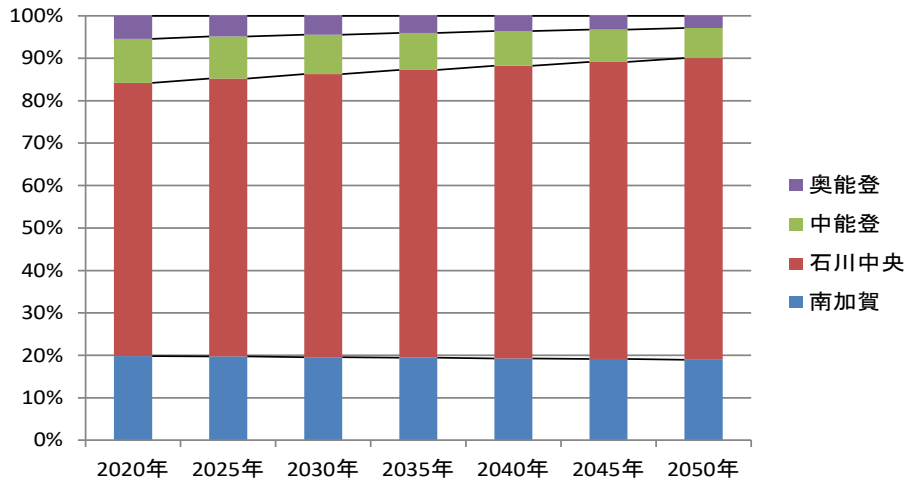
表10 各地域別総人口の割合の推移

地域	割合(%)						
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
加賀	84.2	85.3	86.3	87.3	88.2	89.1	90.0
能登	15.8	14.7	13.7	12.7	11.8	10.9	10.0
南加賀	19.8	19.8	19.6	19.4	19.3	19.1	19.0
石川中央	64.4	65.5	66.7	67.8	68.9	70.0	71.0
金沢市	40.9	41.2	42.0	42.8	43.6	44.3	45.1
中能登	10.4	9.9	9.3	8.7	8.2	7.6	7.1
奥能登	5.4	4.9	4.4	4.0	3.6	3.2	2.9

※ 石川県の総人口に占める各地域の総人口の割合  
 (地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南 能登…羽咋郡以北  
 南加賀…能美市・能美郡以南 石川中央…白山市以北  
 中能登…羽咋郡以北 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北



図8 各地域別総人口の割合の推移



(3) 年少(0-14歳)人口はすべての市町で減少(表11、図9)

市町別の年少人口を令和2(2020)年を100とした指数で見ると、令和32(2050)年には、すべての市町で100を下回る。特に、志賀町(31.7)、宝達志水町(31.4)、能登町(27.1)では令和2(2020)年の1/3以下となる。

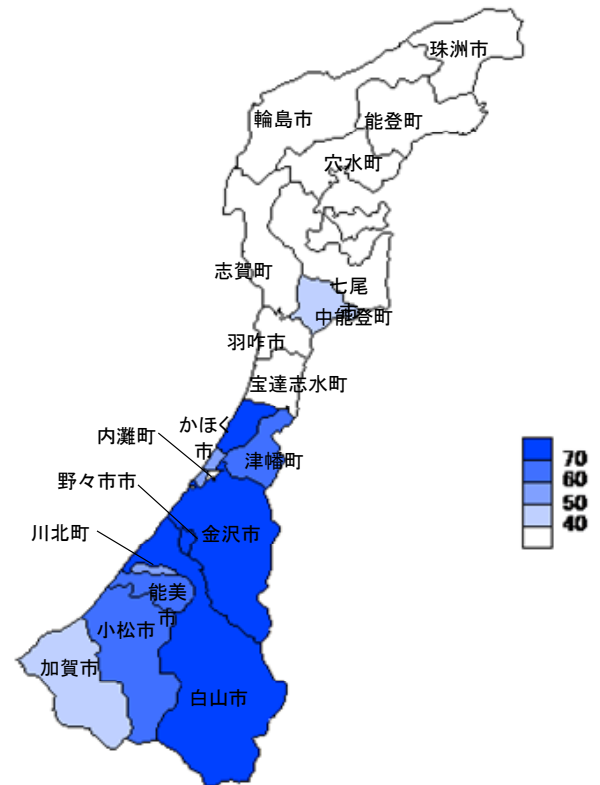
地域別にみると、能登(36.3)の減少幅が大きく、中能登(37.9)で令和2(2020)年の約4割、奥能登(32.2)で約3割となる。

表11 石川県の市町・地域別将来推計人口(年少人口)

市町・地域	年少人口(0-14歳)(人)		2020年を100とした指数
	2020年	2050年	
石川県	137,365	91,543	66.6
加賀	121,272	85,695	70.7
能登	16,093	5,848	36.3
南加賀	28,450	17,438	61.3
石川中央	92,822	68,257	73.5
中能登	11,643	4,417	37.9
奥能登	4,450	1,431	32.2
金沢市	56,180	41,202	73.3
七尾市	5,005	1,906	38.1
小松市	13,857	9,460	68.3
輪島市	1,815	626	34.5
珠洲市	926	285	30.8
加賀市	6,717	2,786	41.5
羽咋市	1,928	684	35.5
かほく市	4,706	3,778	80.3
白山市	15,178	11,398	75.1
能美市	6,819	4,584	67.2
野々市市	8,354	6,610	79.1
川北町	1,057	608	57.5
津幡町	5,060	3,364	66.5
内灘町	3,344	1,905	57.0
志賀町	1,661	527	31.7
宝達志水町	1,081	339	31.4
中能登町	1,968	961	48.8
穴水町	555	207	37.3
能登町	1,154	313	27.1

※(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南  
 能登…羽咋郡以北  
 南加賀…能美市・能美郡以南  
 石川中央…白山市以北  
 中能登…羽咋郡以北  
 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図9 市町別年少人口指数(2050年)



※市町別年少人口指数  
 2020年の年少人口を100とした指数

(5) 生産年齢(15-64歳)人口はすべての市町で減少(表12、図10)

市町別の生産年齢人口を令和2(2020)年を100とした指数で見ると、令和32(2050)年には、すべての市町で100を下回る。指数が最も高いのは野々市市(84.9)、最も低いのは能登町(29.8)である。

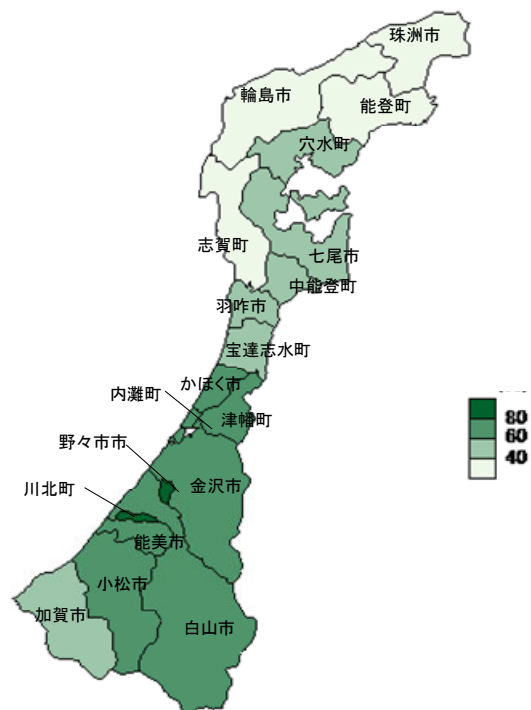
地域別にみると、能登(41.6)の減少幅が大きく、奥能登(34.4)では令和2(2020)年の4割以下となる。

表12 石川県の市町・地域別将来推計人口(生産年齢人口)

市町・地域	生産年齢人口(15-64歳)(人)		2020年を100とした指数
	2020年	2050年	
石川県	657,990	461,618	70.2
加賀	571,755	425,722	74.5
能登	86,235	35,896	41.6
南加賀	128,027	86,194	67.3
石川中央	443,728	339,528	76.5
中能登	59,387	26,666	44.9
奥能登	26,848	9,230	34.4
金沢市	283,255	216,602	76.5
七尾市	25,835	11,901	46.1
小松市	61,671	45,168	73.2
輪島市	11,435	4,176	36.5
珠洲市	5,329	1,655	31.1
加賀市	33,741	15,950	47.3
羽咋市	10,242	4,467	43.6
かほく市	19,827	15,829	79.8
白山市	64,208	48,501	75.5
能美市	28,985	22,172	76.5
野々市市	37,541	31,887	84.9
川北町	3,630	2,904	80.0
津幡町	22,842	16,218	71.0
内灘町	16,055	10,491	65.3
志賀町	8,642	3,268	37.8
宝達志水町	6,244	2,529	40.5
中能登町	8,424	4,501	53.4
穴水町	3,462	1,423	41.1
能登町	6,622	1,976	29.8

※(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南  
 能登…羽咋郡以北  
 南加賀…能美市・能美郡以南  
 石川中央…白山市以北  
 中能登…羽咋郡以北  
 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図10 市町別生産年齢人口指数(2050年)



※市町別生産年齢人口指数  
 2020年の生産年齢人口を100とした指数

(6) 老年(65歳以上)人口は金沢市及びその近郊で増加傾向(表13、図11)

市町別の老年人口を令和2(2020)年を100とした指数で見ると、令和32(2050)年には、野々市市(148.7)、津幡町(137.7)、川北町(131.6)、能美市(120.5)、金沢市(118.4)、内灘町(113.9)、白山市(110.9)など金沢市とその近郊での増加が目立つ。

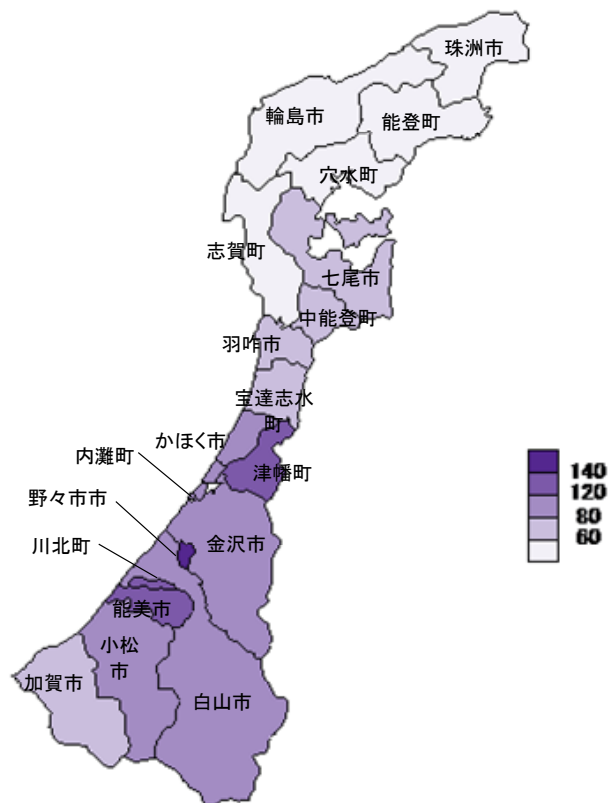
地域別にみると、加賀(113.7)では増加するが、能登(62.1)では減少する。

表13 石川県の市町・地域別将来推計人口(老年人口)

市町・地域	老年人口(65歳以上)(人)		2020年を100とした指数
	2020年	2050年	
石川県	337,171	343,640	101.9
加賀	260,387	295,988	113.7
能登	76,784	47,652	62.1
南加賀	67,617	66,616	98.5
石川中央	192,770	229,372	119.0
中能登	46,968	32,574	69.4
奥能登	29,816	15,078	50.6
金沢市	123,819	146,645	118.4
七尾市	19,460	13,636	70.1
小松市	30,688	31,547	102.8
輪島市	11,358	5,952	52.4
珠洲市	6,674	3,143	47.1
加賀市	22,762	17,835	78.4
羽咋市	8,237	5,912	71.8
かほく市	10,356	10,832	104.6
白山市	31,022	34,394	110.9
能美市	12,719	15,328	120.5
野々市市	11,343	16,863	148.7
川北町	1,448	1,906	131.6
津幡町	9,055	12,468	137.7
内灘町	7,175	8,170	113.9
志賀町	8,327	4,945	59.4
宝達志水町	4,796	3,377	70.4
中能登町	6,148	4,704	76.5
穴水町	3,873	2,099	54.2
能登町	7,911	3,884	49.1

※(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南  
 能登…羽咋郡以北  
 南加賀…能美市・能美郡以南  
 石川中央…白山市以北  
 中能登…羽咋郡以北  
 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図11 市町別老年人口指数(2050年)



※市町別老年人口指数  
 2020年の老年人口を100とした指数

(7)75歳以上人口は野々市市、津幡町で1.8倍以上に増加(表14、図12)

市町別の75歳以上人口を令和2(2020)年を100とした指数で見ると、令和32(2050)年には、野々市市(187.6)、津幡町(186.5)など金沢市とその近郊での増加が目立つが、珠洲市(57.9)など奥能登の各市町は減少する。

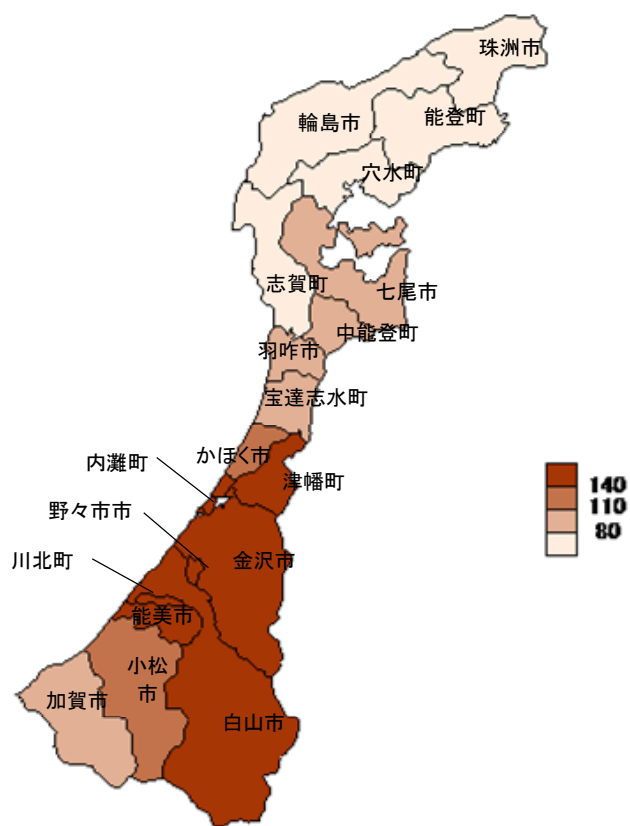
地域別にみると、加賀(143.4)では大幅に増加するが、能登(78.8)では減少する。

表14 石川県の市町・地域別将来推計人口(75歳以上人口)

市町・地域	75歳以上人口(人)		2020年を100とした指数
	2020年	2050年	
石川県	171,629	219,572	127.9
加賀	130,592	187,247	143.4
能登	41,037	32,325	78.8
南加賀	34,975	42,814	122.4
石川中央	95,617	144,433	151.1
中能登	24,386	21,934	89.9
奥能登	16,651	10,391	62.4
金沢市	62,477	92,722	148.4
七尾市	9,996	9,125	91.3
小松市	16,003	19,957	124.7
輪島市	6,342	4,050	63.9
珠洲市	3,733	2,162	57.9
加賀市	11,825	11,957	101.1
羽咋市	4,398	3,989	90.7
かほく市	5,299	6,839	129.1
白山市	14,606	21,396	146.5
能美市	6,413	9,673	150.8
野々市市	5,381	10,096	187.6
川北町	734	1,227	167.2
津幡町	4,350	8,111	186.5
内灘町	3,504	5,269	150.4
志賀町	4,331	3,446	79.6
宝達志水町	2,453	2,353	95.9
中能登町	3,208	3,021	94.2
穴水町	2,173	1,463	67.3
能登町	4,403	2,716	61.7

※(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南  
 能登…羽咋郡以北  
 南加賀…能美市・能美郡以南  
 石川中央…白山市以北  
 中能登…羽咋郡以北  
 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

図12 市町別75歳以上人口指数(2050年)



※市町別75歳以上人口指数  
 2020年の75歳以上人口を100とした指数

### 3 県内市町、地域の年齢別人口割合

(1) 年少(0-14歳)人口割合はすべての市町で低下(表15)

市町別に年少人口の年齢別割合をみると、令和32(2050)年にはすべての市町でその割合が低下する。割合が最も高いのはかほく市(12.4%)、最も低いのは能登町(5.1%)である。  
地域別にみると、令和32(2050)年には加賀(10.6%)、能登(6.5%)ともに低下する。

(2) 生産年齢(15-64歳)人口割合はすべての市町で低下(表15)

市町別に生産年齢人口の年齢別割合をみると、令和32(2050)年にはすべての市町でその割合が低下する。割合が最も高いのは野々市市(57.6%)、最も低いのは能登町(32.0%)である。  
地域別にみると、令和32(2050)年に、奥能登(35.9%)では4割を下回る。

(3) 老年(65歳以上)人口割合はすべての市町で上昇(表15)

市町別の老年人口の年齢別割合をみると、令和32(2050)年にはすべての市町でその割合が上昇する。割合が最も高いのは能登町(62.9%)、最も低いのは野々市市(30.5%)である。  
地域別にみると、令和32(2050)年に、能登(53.3%)では5割を超える。

(4) 75歳以上人口割合もすべての市町で上昇(表15)

市町別の75歳以上人口の年齢別割合をみると、令和32(2050)年には、すべての市町でその割合が上昇する。割合が最も高いのは能登町(44.0%)、最も低いのは野々市市(18.2%)である。  
地域別にみると、各地域とも大幅に上昇し、令和5(2020)年と令和32(2050)年を比べると加賀では9.5ポイント、能登では13.3ポイント上昇する。

表15 石川県の市町・地域別、年齢別人口割合

市町・地域	年少人口		生産年齢人口		老年人口		75歳以上人口	
	2020年	2050年	2020年	2050年	2020年	2050年	2020年	2050年
石川県	12.1	10.2	58.1	51.5	29.8	38.3	15.2	24.5
加賀	12.7	10.6	60.0	52.7	27.3	36.7	13.7	23.2
能登	9.0	6.5	48.1	40.2	42.9	53.3	22.9	36.2
南加賀	12.7	10.2	57.1	50.6	30.2	39.1	15.6	25.1
石川中央	12.7	10.7	60.8	53.3	26.4	36.0	13.1	22.7
中能登	9.9	6.9	50.3	41.9	39.8	51.2	20.7	34.5
奥能登	7.3	5.6	43.9	35.9	48.8	58.6	27.2	40.4
金沢市	12.1	10.2	61.1	53.6	26.7	36.3	13.5	22.9
七尾市	10.0	6.9	51.4	43.4	38.7	49.7	19.9	33.3
小松市	13.0	11.0	58.1	52.4	28.9	36.6	15.1	23.2
輪島市	7.4	5.8	46.5	38.8	46.2	55.3	25.8	37.7
珠洲市	7.2	5.6	41.2	32.6	51.6	61.8	28.9	42.5
加賀市	10.6	7.6	53.4	43.6	36.0	48.8	18.7	32.7
羽咋市	9.4	6.2	50.2	40.4	40.4	53.4	21.6	36.1
かほく市	13.5	12.4	56.8	52.0	29.7	35.6	15.2	22.5
白山市	13.7	12.1	58.2	51.4	28.1	36.5	13.2	22.7
能美市	14.1	10.9	59.7	52.7	26.2	36.4	13.2	23.0
野々市市	14.6	11.9	65.6	57.6	19.8	30.5	9.4	18.2
川北町	17.2	11.2	59.2	53.6	23.6	35.2	12.0	22.6
津幡町	13.7	10.5	61.8	50.6	24.5	38.9	11.8	25.3
内灘町	12.6	9.3	60.4	51.0	27.0	39.7	13.2	25.6
志賀町	8.9	6.0	46.4	37.4	44.7	56.6	23.2	39.4
宝達志水町	8.9	5.4	51.5	40.5	39.6	54.1	20.2	37.7
中能登町	11.9	9.5	50.9	44.3	37.2	46.3	19.4	29.7
穴水町	7.0	5.6	43.9	38.2	49.1	56.3	27.5	39.2
能登町	7.4	5.1	42.2	32.0	50.4	62.9	28.1	44.0

※ 総人口に占める各年齢別人口の割合

(地域区分) 加賀…かほく市・河北郡以南 能登…羽咋郡以北  
南加賀…能美市・能美郡以南 石川中央…白山市以北  
中能登…羽咋郡以北 奥能登…鳳珠郡・輪島市以北

石川県の将来推計人口  
(R5 国立社会保障・人口問題研究所推計)

令和6年1月 発行

編集・発行 石川県県民文化スポーツ部女性活躍・県民協働課  
統計情報室経済産業グループ  
〒920-8580 石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地  
TEL 076-225-1342  
FAX 076-225-1345  
E-mail [toukei@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:toukei@pref.ishikawa.lg.jp)

石川県統計情報室ホームページ  
<https://toukei.pref.ishikawa.lg.jp/>